

## 2009年度 関東部会研究大会のお知らせ

日時：2010年3月13日（土）10：00～17：00（9:30 受付）

会場：東洋大学白山校舎 6 号館

大会テーマ：「政権交代と社会福祉研究」 社会福祉研究は政治変動とどう向き合うのか

昨年、政権が交代した。社会福祉分野でも様々な転換が予想され期待もある一方で、当事者不在の政策立案過程などは構造的に変化がなく、積み残された課題の大きさを考えるとやみくもにありがたがる必要はないという慎重論もある。

これまで政府・官僚主導の政策に呼応するように、社会福祉教育や研究も翻弄されてきたきらいがある。

社会福祉は暮らしに直結している。現実には様々な生活上で困難を抱える人々とともに問題解決をさぐり、安定した生活実現のための政策のあり方、社会のあり方を当事者の視線で追究する学問分野である。実質的な生活政策や生活支援サービスに深くかかわる限り、政治のあり方や政策を相手にしなければならないという宿命をもっている。

社会福祉に従事し、また、教育研究にかかわる徒として、我々は今回の政治的変動とどう向き合うべきなのだろうか。新政権では障害者自立支援法廃案を端緒として、障がい分野での当事者を組み込んだ新しい政策立案が始まっている。政権交代にともなう新たな動向をふまえ、政治的転換と社会福祉研究のあり方を考える。

### ■10：00～11：40 自由報告

① 制度・政策部門 ②理論部門 ③方法部門 ④実践研究部門

報告者  
募集中

2010年2月15日（月）10：00までに「主題および副題、所属、氏名」を明記してメールで応募してください。宛先は関東部会事務局（morita@toyonet.toyo.ac.jp）です。報告者が院生の場合は、指導教員の氏名および応募報告の承諾を得た旨を付記してください。

発表要旨原稿：2010年2月末、A4サイズ2頁（見開き）

発表要旨の様式等詳細は応募者に後日メールでご連絡します。

**\* 社会福祉等の現場での先進的取組を報告する「実践研究部門」を新設しました。奮ってご応募ください。**

■12：00～12：30 関東部会総会 （\*12：30～13：00 関東部会運営委員会）

■12：30～13：15 屋食休憩

■13：15～17：00～ シンポジウム

テーマ：「政権交代と社会福祉研究」 障害者自立支援法廃止と今後の展望

政権交代にともない障がい者政策は当事者の意見を十分反映させて政策を立案するために、これまでの政策決定の在り方の見直しを含めて議論が始まっています。このシンポジウムでは、これまでの障がい者政策に政治家として長く深く関与してきた石毛えい子さんと、政府の障がい者制度改革推進会議のメンバー団体である障がい者インターナショナル日本会議から身体障がいの当事者でもある三沢了さん、同じくメンバー団体である全国精神保健福祉連合会から精神障がい者の家族でもある川崎洋子さんを迎え、今後の障がい政策をどのように作り出していくのか、そこに社会福祉学研究は何を期待されているのかを考えてみたいと思います。

コーディネーター 小澤 温 東洋大学ライフデザイン学部教授

シンポジスト 石毛えい子 氏：民主党衆議院議員

三沢 了 氏：DPI 日本会議事務局長

川崎 洋子 氏：全国精神保健福祉連合会（精神家族会）理事長